

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 29 日

事業名称		広報活動費 [PR物品売払事業]							
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 3	広報費	事業番号	1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	秘書広報		課	広報		係	課長名	五十嵐 孝雄	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 3		
【施策名】 市民自治の向上						総合計画書 (ページ)	127		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市民			世帯数(平成31年4月1日現在)					
	→								
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
市への愛着を深める。また、PR物品を見た方が東大和市に関心をもつ。			累積の販売部数 ①刊行物「今はむかし大和村」 ②絵入り名刺(8種) →						
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
下記の物品を販売した。 ①刊行物「今はむかし大和村」 ②絵入り名刺(8種) →			当該年度の販売部数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
	対象指標	①の数値	世帯	38,405	38,705	38,895			
	成果指標	②の数値	冊・組	①402 ②2,688	①418 ②2,837	①425 ②3,018			
	目 標	②の目標値	冊・組	①410 ②2,800	①420 ②3,000	①430 ②3,200	①440 ②3,400	①450 ②3,600	
		目標値設定の考え方 PR物品の販売をとおりより多くの人に市への愛着を深めてもらう							
活動指標	③の数値	冊・組	①2 ②189	①18 ②149	①7 ②181				
3 経費	事業費(実績)		円	0	223,560	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	0	223,560	0			
		特定財源	円	0	0	0			
		(うち受益者負担)	円						
	人件費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1			
		所要人数(再任用)	人						
		職員人件費(再任用以外)	円	825,300	824,400	831,000			
職員人件費(再任用)		円							
事業費+人件費		円	825,300	1,047,960	831,000				
4 環境変化等	(1) 開始年度 「今はむかし大和村」は昭和60年、多摩湖の絵入り名刺は昭和63年								
	(2) 環境の変化 ・「今はむかし大和村」に関しては、開始当初と比較して年間販売部数が大きく減少している。 ・平成25年度からプリンターで対応できるA4サイズの名刺シート(多摩湖の四季のデザイン)を販売した。 ・平成27年度に上記の名刺シートに変電所のデザインを追加した。 ・平成29年度からうまかんべえ～祭及び平和市民のつどいにて販売を始めた。								

事業名称	広報活動費〔PR物品売払事業〕				
担当部署・課長名	秘書広報	課	広報	係	課長名 五十嵐 孝雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：⑧（PR物品の販売で、市民に市への愛着をより深めてもらう）			
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 PR物品の販売により、市民に市への愛着をより深めてもらうことができ、それが様々な場面における市民協働につなげることが出来る。				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 販売数は増加したが、市のイメージアップに向け、より一層のPR物品の販売促進が必要である。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 令和元年5月に開催した「うまかんべえ〜祭」及び令和元年8月に開催した「平和市民のつどい」において、PR物品の販売場所を旧日立航空機株式会社変電所内とし、販売促進を図った。 また、販売場所の拡大として近隣自治体及び関係機関への調査を行った。 職員に向けて、周知を行った。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） より一層のPR物品の販売促進のため、市制50周年という節目の年にあたり、市制50周年記念式典で販売するなど、購入の機会及び場を拡大していく必要がある。				
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 市民自治の向上 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 市が主催するイベントへの出店を増やしていくことを検討する。 販売機会の拡大として、調査の結果に基づき、新たな販売場所を立案する。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 市が主催するイベントでの販売については、担当課との調整が必要である。 新たな販売場所の立案にあたっては、在庫や販売代金の管理について関係機関と調整が必要である。				